



第二十五週年紀念帖

附 昭和二年度事業報告

埼玉縣入間郡三芳野村

有限責任三芳野村信用購買販賣組合





現組合長 大川平三郎



助利原栗 長合組前



七兵木正 長合組前



郎次庄野萩 長合組前



郎次原 事理現



三源戶河大 事理現



郎次忠橋高 事理現



現監事 井上角造



現監事 小川多一郎



現監事 栗原律三郎



一喜川大 員議評



作利野吉 員議評



吉嘉代網 員議評



吉龍又柏 員議評



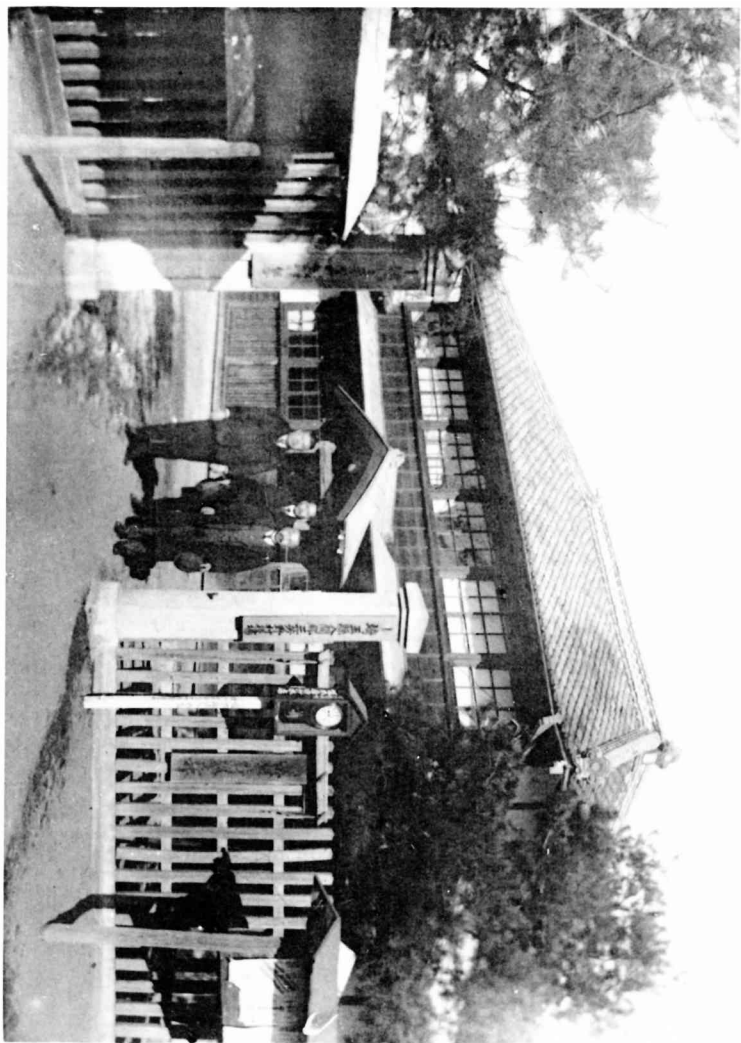
郎次平原栗 員議評



道覺靜 記書



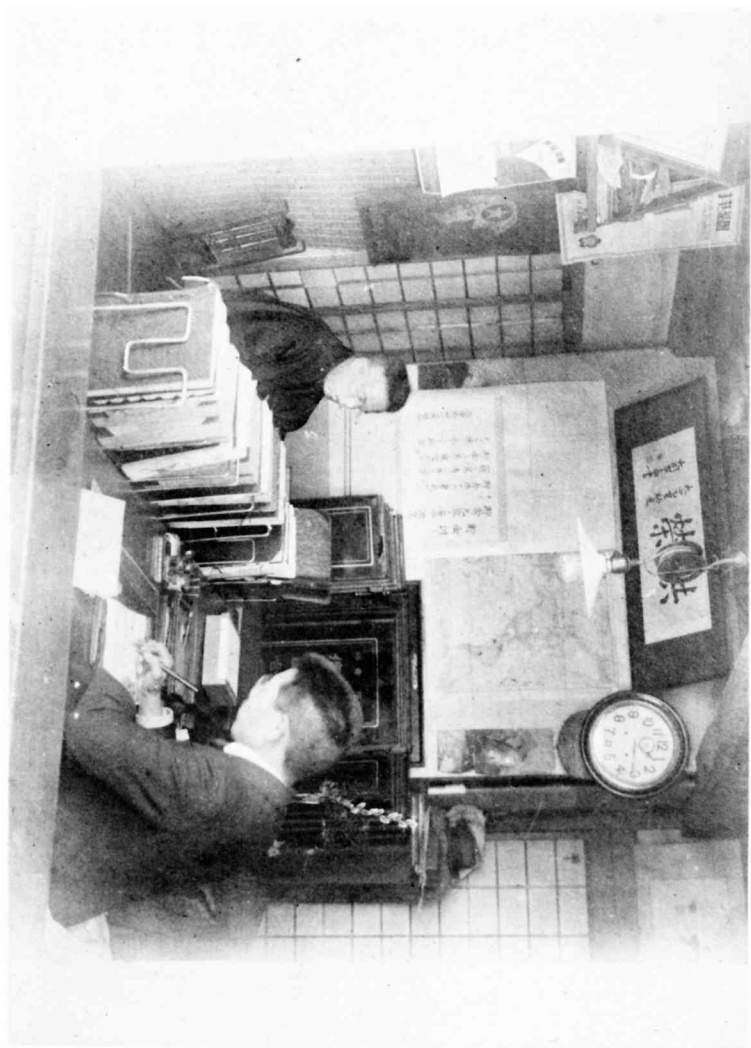
郎三彌野角 員議評



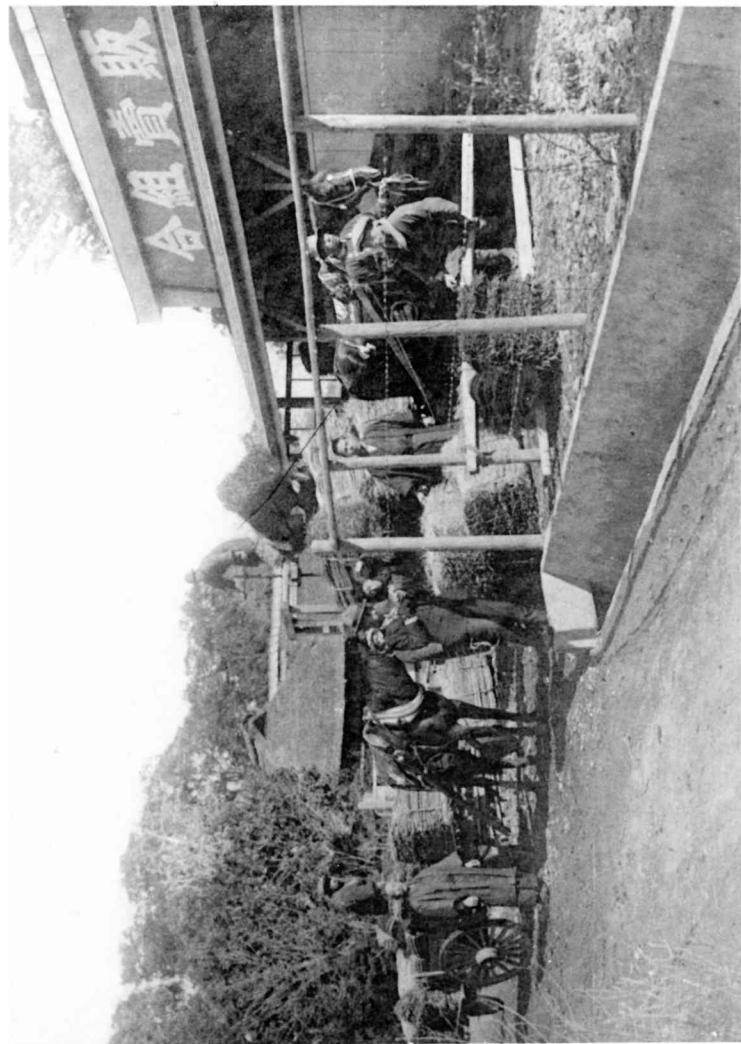
場役及所務事合組



農業倉庫



室務事合組



販賣組合の荷造り状況

三芳野村信用購買販賣組合二十五周年記念誌

組合ノ沿革

本組合ハ埼玉縣入間郡三芳野村ヲ區域トシ、明治三十六年十月設立、區域内戸數五百十戸、人口約二千五百人、田二百十町、畑三百四十町、山林七十町、大部分ハ農業ニ従事セリ、近時養蠶業著シク發達シ、農家經濟ノ中樞ヲ支配スルノ有様ナリヤ、其外養鶏、養豚等ナス者アレド、未ダ微々トシテ振ワズ。冬季ハ農閑ヲ利用シテ藁細工盛ナリ、故ニ區域内經濟ノ本位ハ農業收益ト養蠶利得ニシテ副業トシテ藁工品菰莖及竹皮工品等ヲ以テ補足スルノ實況ナル故ニ、敢テ貧弱ナル村トヲ稱シ難キモ、地勢東南北ノ三方ハ越部川ト入間川ニ圍マレ、中央ニ小畔川ノ貫流スルアリテ、年々洪水ノ被害ヲ蒙リ、其損失甚大ニテ、平均被害高拾萬ニ近ク年ニヨリ米作ノ如キ悉無ノ慘狀ヲ呈スル事アリ、カ、ル状態ナレハ、村民ハ自然農業ニ勵ミヲ欠キ、施肥手入等充分ナラズ、從テ經濟ハ益疲弊シ、農業ヲ厭フ傾向トナリス、村内有志大イニ之ヲ憂ヒ、相謀リ、救濟策トシテ信用組合ヲ設立シ、經濟的援助ヲ與ルト共ニ信用道德ヲ尊重セシメ勤勉貯蓄ノ氣風ヲ鼓吹セリ、

當時産業組合法發布以來日尙淺ク組合思想ノ普及セサルハ勿論其主旨ヲ誤解スル者アリ、發記者ノ苦心實ニ容易ナラズ、一同奮勵努力、組合主旨ノ徹底ニ努メ、成績ノ見ルベキモノハアリテ大正二年十月埼玉支會ヨリ表彰ヲ受ケタリ、

爾後、逐年組合員ノ増加ヲ見、貯金ヲ向上シ、大正八年信用單營ヨリ購買販賣組合トナシ、購買事業ヲ兼營スルニ至リシカ、大正九年全國的經濟界ノ影響ヲ蒙リ、損失ヲ受ケ業績不振ニ陥リシガ大正十一年現組合長大川平三郎氏組合長ニ就任シ、役職員ト共ニ銳意回復ニ努力シ諸般ノ整理ヲ行ヒ堅實ナル經營ノ基ニ、只管產業ノ發達ニ務メ、勤勉力行ノ美風ヲ養成シ、殊ニ治水事業ニ意ヲ用ヒ、組合長自カラ私財ヲ投シテ堤防ノ増築ヲナシテ、洪水ノ被害ヲ減少シ、或ハ副業獎勵ヲナシテ、富力ノ増進ヲ圖リ、尙出資ノ口數ヲ増シ村民全部ヲ組合員トナセリ。

貯金額ノ購買額ハ忽チ數倍シ、大正十四年更ニ農業倉庫ヲ設立シテ販賣事業ヲ經營シ以テ組合員ノ福利ニ務メタリ、組合員モ切實ニ組合ノ効果ヲ感得シ、事業分量ハ年ト共ニ擴大シ進歩向上ノ域ニ進ミツ、アリ

組合員

明治三十六年	二百七十三人
大正五年	二百八十八人
大正八年	三百九十八人
大正十一年	三百八十三人
昭和二年	四百九十八人

出資金年別一覽表

明治三十六年	六千六百八拾圓
大正五年	六千七百七拾圓
同八年	壹萬貳百拾圓
同十一年	貳萬四百貳拾圓
同十二年	壹萬貳百拾圓
昭和二年	壹萬九百七拾圓

準備金年別一覽表

明治三十七年	拾八圓八拾壹錢九厘
同三十八年	七拾七圓參拾六錢九厘

同	同	同	同	同	同	同	同	同	大	同	大	同	同	同	同	同	同
									正		正		四	四	四	四	三
十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	元		拾	十	十	十	十	十
一												四	三	二	一		九
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年

千九百參拾六圓九拾七錢四厘	參千貳百八圓四錢	貳千八百七拾壹圓拾壹錢	貳千八百五拾圓拾七錢	貳千五百七拾貳圓六拾錢	貳千五百七拾貳圓六拾錢	貳千參百貳拾七圓八拾六錢七厘	貳千參百貳拾七圓四拾錢	千九百四拾圓拾錢	千七百參拾九圓四拾錢	千五百參拾六圓七拾錢	千參百參拾六圓	千百參拾五圓六拾錢	九百壹圓八拾錢	六百六拾八圓	四百貳拾五圓四拾六錢九厘	貳百六拾壹圓九拾六錢九厘	百六拾圓九拾六錢九厘
---------------	----------	-------------	------------	-------------	-------------	----------------	-------------	----------	------------	------------	---------	-----------	---------	--------	--------------	--------------	------------

同	明	昭	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	治	和													
三	三	二	十	十	十	十	十	九	八	七	六	五	四	三	
十	十	十	五	四	三	二	一								
八	七	五	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
年	年	年													

損失補填

九百八拾五圓 千七百五拾八圓	九百八拾五圓 千七百五拾八圓	五百四拾八圓參拾七錢	五百四拾八圓參拾七錢	五百四拾壹圓六拾六錢五厘	五百參拾四圓九拾四錢八厘	四百拾參圓拾壹錢貳厘	參百四拾八圓貳拾參錢五厘
-------------------	-------------------	------------	------------	--------------	--------------	------------	--------------

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 大 同 同 同 同 同 同

正

三十九年 四十年 四十一年 四十二年 四十三年 四十四年 元 二年 三年 四年 五年 六年 七年 八年 九年 十年 十一年

貳千五百拾八圓
貳千貳百六圓
貳千九百七拾參圓
四千百四拾六圓
四千參百拾四圓
六千五百八拾貳圓
壹萬壹千四拾貳圓
壹萬六百貳拾五圓
壹萬四百七拾九圓
壹萬壹百拾七圓
壹萬七千貳百六拾參圓
參萬貳百四拾貳圓
四萬參百九拾貳圓
四萬參千貳百參拾六圓
參萬七千六百參拾六圓
四萬壹千五百拾四圓
四萬貳千八百四拾五圓

貸付金年別一覽表

大正	十二年	七萬參千五百八拾五圓
同	十三年	拾貳萬參千五百圓
同	十四年	拾四萬五千九百九拾七圓
同	十五年	拾五萬貳千四百九拾五圓
昭和	二年	拾五萬參千七百貳拾九圓
明治	三十七年	參千貳百八拾五圓
同	三十八年	六千七百五拾貳圓
同	三十九年	七千五百六拾八圓
同	四十年	八千七百八拾貳圓
同	四十一年	壹萬壹千貳百九拾六圓
同	四十二年	壹萬九百拾六圓
同	四十三年	壹萬壹千九百七拾四圓
同	四十四年	八千七百六拾九圓
大正	元年	九千八百參圓
同	二年	壹萬拾參圓

昭 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 大

和 正

二 十 十 十 十 十 九 八 七 六 五 四 三

五 四 三 二 一

年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年

壹萬四千六百六拾七圓

壹萬五千百七拾八圓

壹萬四千五拾圓

壹萬六百貳拾七圓

壹萬壹千四百四拾圓

壹萬五千四圓

貳萬四千八拾七圓

參萬壹千五百八拾壹圓

參萬壹千參百七圓

參萬九百九拾六圓

參萬九千八百四拾九圓

七萬五千五百參拾七圓

八萬壹千六百九拾六圓

拾萬四千四百貳拾六圓

設立以來役員異動

一、理事

栗原利助 明治三十六年十月就任

萩野庄次郎 全

井上伊重郎 全

原森藏 大正五年一月就任

栗原權之丞 全

正木兵七 大正八年一月就任

眞仁田千代吉 大正九年一月就任

大川平三郎 大正十一年一月就任

原次郎 全

高橋忠次郎 全

大河戸源三 大正十二年一月就任

一、監事

栗原友平 明治三十六年十二月就任

眞仁田鍋太郎 全

大正四年十二月退

大正八年十二月退

大正四年十二月退

大正十二年十二月退

全

全

大正十一年八月退

現任

全

全

現任

大正十年十二月退

大正四年十二月退

一、評定委員

網代嘉吉	高橋忠次郎	大河戶源三	栗原律三郎	井上角造	小川多一郎	正木平七	原森藏	栗原權之丞	松本増次郎	鈴木俵吉	栗原平次郎	網代嘉吉	長田銀次郎	加島定次郎	林富藏
大正五年一月就任	大正八年一月就任	全	大正十一年一月就任	全	全	明治三十七年一月就任	全	全	全	全	大正五年一月就任	全	全	全	全
大正七年十二月退	大正十年十二月退	全	現任	全	全	大正四年十二月退	全	全	全	全	現任	全	大正十二年十二月退	大正十五年十月死亡	大正十年十二月退

栗原武松	大正十一年一月就任	大正十二年十二月退
大川喜一	全	現任
吉野利作	大正十三年一月就任	全
角野彌三郎	大正十五年一月就任	現任
柏又龍吉	昭和二年二月就任	全

産業組合ノ使命

世ノ中ノ文明ガ進ムニ從ヒ、農村ガ衰退スル傾向アルハ、國家トシテ、誠ニ憂フ可キ現象デア
 ルガ、其レニハ明カナ原因ガアル。

由來農業ハ收益ノ点ニ於テ、他ノ職業ニ比シ、著シク劣テオル上ニ、尙ホ金融機關ノ上ニ、將
 又經濟組織ノ上ニ、大ナル欠陥ガアリテ、其ノ收益ヲ益々減殺シテ居リマス。翻テ、農家出費
 ノ点ヲ考フルニ、年ト共ニ嵩ム許リデアリマス。文明トハ或意味ニ於テ、生活ノ向上デア
 ル、經濟生活デア
 ル、日光、通風ヨキ衛生的文化住宅ハ金ヲ要スル。昔木綿着テ草鞋デ足ルモノ
 ガ、今ハ帽子外套デ自轉車又ハ自働車(タトヒ乗合ニシロ、デア
 ル、夜ハ、電燈ノ下ニ新聞、雜
 誌ハ愚カラジをヲ聞ク、然シ、農民ナルガ故ニ、文明ノ思惠ニ浴ス可カラストハ無理デア
 ル、
 時代ノ趨勢デ已ヲ得ザル事デア
 ル。ソコニ、經濟的矛盾ガアツテ、農村ヲ惱マシテオル。
 現今ノ儘ノ經濟組織ニアリテ、方今ノ如キ農業經營ニテハ、到底時代ノ適合スベク、生活ノ

安定ハ得ラレヌ。否、働イテモ、モ食フニ困ル事トナル。今日農村ノ行詰マレル原因ハ正シク、コ、ニ存ス。農村振興ノ聲ヲ聞クヤ久シ、未ダ之レガ解決案ヲ見ズ、我等農民ハ餘リニ團結力ニ乏シク、他力本願デアル。宜敷ク、自力宗ニ立チ歸リ、産業組合ヲ唯一ノ武器トシ眞ニ自覺シテ一致團結シタラ、此ノ難局ヲ打開スルコトガ出來得ヨウ、産業組合ニ携ハル吾人ノ使命コソ重大デアル。

大川組合長より組合員に告げし、指示の文例

一、大正十一年十月十七日

組合長 大川 平三郎

三芳野村信用組合關係諸君ニ告グ

去ル八月六日ノ臨時組合ノ決議ニヨリ、本組合ノ内容ハ完全ニ整理セラレ、理事ハ今後ノ發展ニ就キ大イニ考究シ努力シツ、アリ。予ハ理事長トシテ就任日淺ク、事業ニ對スル經驗未ダ多カラズト雖モ、組合事業ノ現狀ニ就キ眞ニ憂慮ニ堪エサル事アリ。之レ諸君ニ訴ヘテ大イニ諸君ノ御考慮ヲ煩ハサントス。組合ノ事業ハ村内一般ニ勤儉貯蓄ヲ獎勵シ必要ナル資金融通ノ途ヲ拓ク等頗ル便利有望ナル事業ニシテ本村ニ取リテハ實ニ無クテナラヌ必要ノ機關ナルハ云フ迄モ無シト雖モ此事業ノ經營ハ今ノ有様ニテハ案外ニ困難ニシテ此儘ニ過キ行ク時ハ何人モ其ノ任ニ當ル事ヲ好マサル事トナリ。

結局事業ノ存立ハ不可能トナルヤヲ憂フ、夫レハ何故ナリヤト云フニ貸付取立カ困難ニシ

テ手數ガ掛ル事甚シキ一事ナリ、

凡ソ世ノ中ニ不快ナル事ノ内、友人間ニ貸金ノ催足ヲ爲ス程、不快ナルハ無シ、本組合ノ理事トシテハ此ノ不快ナル仕事ヲ第一ノ要路トスルガ如キ今日ノ有様ニテハ、何人カ好シク、此ノ職ニ當ルモノアル可キヤ、況ンヤ理事ハ俸給モ受ケズ、眞ノ名譽職ナルニ於テヲヤ、サレバトテ、有給専門ノ理事ヲ常置シテハ組合ノ收支ハ償フヘクモアラス、是等ノ事情ヲ詳ニスルニ及ンデ、予ハ寧日一日モ早ク組合ハ解散スルニ如カストサヘ考フルニ至レリ、然レトモ更ニ考ルニ折角苦心以テ今日ニ及ヘル古キ光榮アル歴史ヲ有スル本組合ヲ解散スルハ餘リニ残念ナリ、何レカノ方法ニ於テ之レヲ巧妙ニ處理シ存立セシムル方法ナキカト種々研究シタル處、結局組合員諸君カ左ノ規程ヲ堅ク約束セラレ、之レガ眞面目ニ履行セラレ、ニ於テハ、本組合ノ經營ハ茲ニ一轉シテ極メテ容易ノモノトナリ、益々組合事業繁昌スヘシ。

一、組合員ニシテ組合ノ資金融通ヲ受ケタル人ハ決シテ理事ノ催足ヲ待タス期日ニ相違ナク元利ヲ持參シ返金ヲ爲ス事

但シ必要ナル場合ハ元金ハ更ニ即日借替ヲ爲スモ差支ナキ事

二、組合員ハ勤儉貯蓄ヲ本義トシ可成組合ノ預金増加ニ盡力セラル、事

右ノ如クニシテ理事ガ貸金ノ催足ニ馳セ廻ル必要ナキ事トナレバ、理事ハ最モ不快ナル仕事ヲ爲サズシテ、濟ム事トナリ、村内有力ノ人士ハ光榮トシテ理事タル事ヲ承諾スルニ至

ラン、斯クシテ村内一般各自ノ間ノ信用ハ増シ、交際ハ圓滿トナリ茲ニ模範的ノ組合ヲ現出スルニ至ル可キナリ、組合諸君ガ速カニ、此ノ意義ヲ了解セラレ、催促ナシ返金ノ美風ヲ養成セラル、ニ於テハ、予ハ飽ク迄本組合ノ爲ニ盡力シ組合ノ財産ヲ保護シ收支ヲ明瞭ニシ、萬事ニ對シ全責任ヲ負フ可シ。

今日ノ有様ニテハ、貸金催促ヲ不快事ノ爲ニ理事トナル人ハ無クナルニ至ルト共ニ又此ノ貸金關係ヨリ村内ニ交際ノ圓滿ヲ欠クノ不祥事ニ到リ組合ノ存立ハ、益々六ヶ敷キ事トナルヤニ考フ、予ハ茲ニ一書ヲ諸君ニ提シ重ネテ組合員諸君ノ間ニ「催促ナシ」元利返金ノ美風養成ニ就キ殊ニ堅固ナル約束ヲ定メラレン事ヲ願フ次第ナリ。不幸ニシテ、此ノ事が成立セザル様ナラバ、予モ不本意ナガラ到底理事長ノ職ヲ務メ兼ル事ト相成ル可シ、敢テ諸君ノ賢考ヲ煩ハサントス。

副 業 獎 勵

大正十三年七月六日

大 川 平 三 郎

組 合 員 各 位

三芳野村信用組合ノ事業ハ一時頓挫シテ、前途ヲ悲觀セシ事アリシモ、理事諸君ノ奮闘努力ト組合員諸君ノ耐忍ニヨリ、今ヤ縣下ノ模範的組合タルニ至ラントス、洵ニ慶賀ニ堪エサル所ナリ、組合ノ貯金ハ近ク十萬萬ニ達セントス、戸數四百、人口二千ノ一村トシテハ尙

大イニ進展スベキ道理アリト考ヘラル。

是レヨリ組合員ノ進ム可キ手段方法ニ付薦ハ大イニ苦心シ研究セリ。結局組合員一同ガ寸暇ヲ惜ミテ勤勞ニ従事シ他人ノ及バザル處ヲ實行シテ効果ヲ收ムルヨリ外ニ確實ナル方法ナク、若シ全村一致シテ此ノ目的ヲ以テ進行セバ、遂ニハ驚クベキ富メル一村ヲ現出スルニ至ルベキハ疑フ可キモ無シ、抑モ人ハ勤勞ヲ以テ已ノ趣味ト爲シ、一切時間ノ浪費セザル心得アリテ始メテ確實ニ成功スヘキモノナリ。勤勞ヲ苦痛トスル人ニ、貧困ナラサルハ無シ、勤勞ヲ趣味トシ樂トスル人ニ富裕ナラザルハ無シ是レ千古一貫ノ天理ニシテ智者ナラストモ容易ニ知り得ル天地ノ原則ナルニ世ノ人多クハ之ヲ覺ルノ明ナキハ不思議千萬ノ事ナラスヤ。

予ニ於テハ勤勞ハ趣味ナリ。趣味ナルガ故ニ勤勞ヲ樂トセリ、世ニ立チテ既ニ約五十年、日曜日ヲ休課トセシ事ナシ、病氣ノ外ニハ勤務ヲ休止セシ事ナシ、今日脚部ノ腫物ノ爲ニ温泉ニ靜養ヲ試ミ數日ヲ空費ス、

之レヲ一大恨事トシ衷心悶々タリ。コノ時原次郎君來訪セラレ病床談スル處ニヨリ、此ノ一文ヲ草スルモノナリ。

上掲ノ主旨ニ基キ予ハ村内發展ノ策トシテ、村内一般ニ蓆織リノ産業ヲ起サン事ヲ勸ム。蓆ハ富士製紙會社一社ニテ年額二十萬ヲ消費ス、全村ニテ製出スル蓆ハ悉ク一社ニテ購入セラルヘシ。村内ノ人々ハ寸暇アル毎ニ、之レニ従事シ一村ノ人々舉テ寸暇ヲ空費セサル事

トナラバ數年ノ後ニハ驚ク可キ蓄財トナラン。

人々ガ働キテ貯蓄スル金ハ直チニ之レヲ有利ノ方法ニ運用スル工夫亦肝要ナリ。近クハ農業倉庫、乾繭機ノ問題アリ孰レモ組合ノ事業トシテ有利ナルガ如シ、克ク慎重ノ態度ヲ以テ研究ヲ遂ゲ、順次之レヲ實行スルヲ可トスルガ如シ。何事ヲ爲スモ資金ヲ第一ニ必要トス、資金ヲ得ルハ勤勞ニアリ、大勢一致シテ懸命ニ働ク時ハ、金ハ驚ク程ニ早く集ルモノナリ、唯如何ニシテ働クベキカヲ研究スルヲ第一着歩トスルニ付、茲ニ予ハ蓆織事業ノ事ヲ諸君ニ勸ムルモノナリ。

大正十三年十二月

大川平三郎

組合員各位

蓆織リノ業ハ村内勤儉ノ美風ヲ養成スル第一ノ良策タルヲ信スルニヨリ一日モ早く一般ニ之レヲ奨勵スル事ニ致シ度候コノ奨勵資金トシテ金三百圓ヲ拙者ノ手許ヨリ支出シ、之レヲ本業ニ精勵勤勉スル人ニ賞與トシテ贈呈スルル事致シタク而シテ働ク人が富ミ働カサル人ハ貧乏ヲ免レサル事實ヲ深刻ニ自覺セシメサルベカラズ一同御協議相煩ハシ度ク候

自昭和二年一月一日
至昭和二年十二月卅一日

第二十五回事業報告書

有限責任三芳野村信用購買販賣組合

財產目錄

種目 資

摘產

要

金額

中央金庫出資金								
聯合會出資金	有限責任埼玉縣信用利用組合聯合會	一五〇	四〇					一、五〇〇、〇〇〇
有價證券	入間郡信用購買販賣組合聯合會		五〇					二、七〇〇、〇〇〇
建物	公債五十圓三枚 大農五百圓二枚 南滿百圓三十枚							一七、七五八、四〇〇
農業倉庫	北海拓五百圓四枚 武銀二千五百圓三枚 埼玉治水千圓一枚							一、一三四、九三〇
什器	一棟							四、一八六、四二〇
聯合會貯金	金庫、机、戸柵、時計							二四二、五八〇
銀行預金	基本貯金							一、〇八一、七四〇
貸付金	武州銀行通知預金							六〇、八一二、二九〇
販賣掛賣金	割賦一件 担保付	四一件	普通	四六四件				一〇四、四二六、九五〇
購賣品	大豆粕	三〇	米糠	一一				八四、〇〇〇
購買延納金	炭	三	石灰	一一				一、二三二、九二〇
	アノモホス		紙	六				一、七二〇、三四〇
	ニ外安	一七蠶座紙	丸	五九〇枚				
			狀	〇				
			四二件					

現金

合計

負債

種目

中央金庫拂込
未濟出資金

借入金

組合員貯金

家族貯金

團体貯金

購買掛買金

未拂配當

合計

差引純資産

2
四、六一八、〇三九
二〇一、四九八、六〇九

摘要

債

要

金額

中央金庫 一五、〇〇〇、〇〇〇
埼玉農工 四、二四六、四四〇
埼玉共濟會 二〇、〇〇〇

五三七人

八〇〇人

一二二團体

一件

一九、三六六、四四〇

九三、〇五一、五三五

三四、七四八、六七九

二五、九二九、五五六

二六、一〇〇

一四三、六二〇

一七四、〇二四、六三〇

貸借對照表

貳萬七千四百七拾參圓九拾七錢九厘

種目 貸

金額

種目 借

金額

中央金庫出資金	一、五〇〇、〇〇〇
聯合會出資金	二、七〇〇、〇〇〇
有價証券	一七、七五八、四〇〇
建物	一、一三四、九三〇
農業倉庫	四、一八六、四二〇
什器	二四二、五八〇
聯合會貯金	一、〇八一、七四〇
銀行預金	六〇、八一二、二九〇
貸付金	一〇四、四二六、九五〇
販賣掛賣金	八四、〇〇〇
購買品	一、二三二、九二〇
購買延納金	一、七二〇、三四〇
現金	四、六一八、〇三九

合計

二〇一、四九八、六〇九

事業ノ狀況

出資金	一〇、九七〇、〇〇〇
準備金	六、九三二、八七四
特別積立金	二、八五〇、〇〇〇
中央金庫拂込	七五八、七〇〇
未濟出資金	一九、三六六、四四〇
借入金	二九、七七二、七八五
組合員貯金	七、一五八、六五〇
目的貯金	三四、七四八、六七九
家族貯金	二五、九二九、五五六
團體貯金	五三、一二三、七〇〇
定期貯金	二、九九六、四〇〇
復興貯金	二六、一〇〇
購買掛買金	一四三、六二〇
未拂配當	六、七二一、一〇五
本年度剩餘金	二〇一、四九八、六〇九

合計

二〇一、四九八、六〇九

本年度ニ於ケル事業ノ概要ヲ述ルニ、前年來引續ク不況ハ益深刻ヲ極メ農家收入ノ中樞タル繭價ハ、近年來曾テ見ザル安値ニテ、秩蠶繭ノ如キ、全ク採算ニ合ハザル相場ヲ出現シ、生産費ニ不足ヲ生ズルガ如キ慘狀ナリキ。

小麥ハ地方ニヨリ、春水ノ被害ヲ受ケ半作ニモ足ラズ、一般ヲ通シテ二三割以上ノ減收ナリキ。幸、米ハ一回ノ水害モ被ラス、十數年來稀ニ見ル豐作ナレドモ、之レ亦價格低落ノ爲メ收入豫期ニ反シ、前來ノ不況ヲ救フニ足ラズ。依然トシテ疲弊惻憊ノ狀態ナリキ。各科目ニ就テ述ブレバ、

一、貯 金

貯金ハ一般組合員ノ自覺ニヨリ、常ニ向上ノ經路ヲ辿レドモ、經濟不況ノ影響ヲ蒙リテ貯金高ハ上ラズ、前年ト殆ド同一ノ狀態ナリキ。中央金融界ハ、四月臺灣銀行ノ破綻ヨリ端ヲ發シ休業銀行續出シ未曾有ノ混乱ヲ來シ、政府ハ之レガ善後策トシテ、ムラトリアムヲ施行セシ程ナリシガ、幸ヒ、本組合ハ更ニ影響ヲ受ケズ、産業組合トシテノ、使命ヲ全ウシ得タリ。

次ニ如上ノ如キ經濟不況ニ於ケル決算期モ、目的貯金(三ヶ年据置)ノ滿期拂出ニヨリ金融ヲ緩和シ、無事決算スルヲ得タルハ欣幸トスル所ナリ。

貸 付 金

貸付金用途ノ主ナルモノハ、肥料資金ト生産品(繭、小麥、米)共同販賣資金ニテ、土地買

入資金舊債償還資金之レニアグ。本年度ハ産業不振ノ結果、金融狀態ハ著ク、梗塞シテ資金ノ枯渴ヲ來シ其結果貸付多ク、拾萬圓ヲ突破スルニ至レリ。貸付ニ附テハ、常ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ、敢テ信用程度ヲ越ヘズ、回收不能ニ終ルガ如キ心配ハアラザリキ。

購買事業

本組合購買取扱品ハ大部分肥料ニテ、本年度ハ組合員購買力衰頽ノ爲メ、前年ニ比シ約壹萬圓ノ減額ニテ其金額四萬六千餘圓、購買方法ハ、主トシテ注文主義ニ據リ、好機ヲ見計ヒ買付ヲナスモノナリ。幸、常ニ市價ヨリ安價ニ配給シ且ツ多少ノ利益金ヲ見タリ。組合員モヨク、組合ヲ理解シ信用シ益隆盛ニ向ヘリ。

販賣事業

販賣事業ハ年ト共ニ擴大シ、其取扱高約貳萬壹千餘圓ニシテ、前年ニ比シ壹萬餘圓ノ増額ナリ、品目ハ、苳、米、小麥等ニシテ、苳ハ農閑ヲ利用シテ製造スルモノニテ、販賣先ハ、富士製紙會社、樺太工業會社ナリ、米モ麥モ政府又ハ會社ト直接契約シ共同販賣ヲナセリ。其他直接ニアラザレド、養蠶組合又ハ農會ト提携シ繭ノ共同販賣ヲ實行セリ。以上ハ、副業獎勵又ハ農業倉庫利用獎勵ノ爲、全々手數料ナシニ、奉仕的ニ實行セルヲ以テ、直接利益無しト雖モ、組合員ニ對スル精神訓練上得ル所大ナリ。

農業倉庫利用狀況

設立後僅カ、壹ケ年ナレドモ、比較的成績良好ニシテ、米、千四百拾九俵、小麥五百俵、菰苳

五萬枚其他竹工品等ナリ、然レドモ、組合員ガ眞ニ之レヲ理解シ自覺シテ利用スルニ至ルハ尙一段ノ努力ト相當ノ年月ヲ要スナリ。

資金運轉狀況

本組合ノ出資金ハ、壹萬壹千圓ニ足ラザレドモ、貯金約拾五萬圓餘、低利資金借入金約貳萬圓合計拾八萬餘圓ナリ。

常ニ、過、不足ナク圓滑ニ事業經營ヲナセリ。然レドモ目下ノ況態ヨリ將來ヲ考フル時、繭、米、等主要生産品ノ價格回復セザル時ハ、或ハ資金ニ不足ヲ來ス事アルベシ。

事業報告書

一 組合員數	四百四十九名
一 出資口數	壹千九十七口
一 出資總額	壹萬九百七十圓
一 拂込濟出資額	壹萬九百七十圓
一 諸積立金	九千七百八十二圓八十七錢四厘
前年度未現在高	四千九百十六圓八十錢
本年度借入高	貳萬八千七百五十圓
本年度償還高	壹萬四千三百三十六錢
本年度未現在高	壹萬九千三百六十六圓四十四錢
一 借入金	

事業ノ成績

一預ケ金

前年度未現在高	六萬六千七百七十六圓五十三錢
本年度預ケ金高	拾壹萬七千九百六十七圓十六錢
本年度拂戻高	拾貳萬二千八百四十九圓六十六錢
本年度未現在高	六萬壹千八百九十四圓三錢

貸付金

前年度未現在高	八萬壹千六百九十六圓九十七錢
本年度貸付高	拾貳萬二百三圓九十二錢
本年度償還高	九萬七千四百七十三圓九十五錢
本年度未現在高	拾萬四千四百二十六圓九十五錢

貯金

前年度未現在高	拾五萬貳千四百九十五圓三十六錢四厘
本年度受入高	拾八萬二千五百二十九圓六錢七厘
本年度拂戻高	十八萬一千二百九十四圓六十六錢一厘
本年度未現在高	十五萬三千七百二十九圓七十七錢

販賣品

前年度未現在高	五十五圓五十七錢
本年度受入高	壹萬六千六百二圓七十四錢
本年度販賣高	壹萬七千三百三十一圓八十二錢
本年度未現在高	

購買品

前年度末現在高
本年度買入高
本年度賣却高
本年度末現在高

八百七十七圓四十錢
四萬四千二百一十一圓六十七錢
四萬五千七百五十九圓十六錢
壹千二百三十二圓九十二錢

損益計算

種目	利益金額
預ヶ金利息	二、八二一、六〇〇
證券利息	一、〇五八、九五〇
貸付金利息	九、九九七、九八〇
延納金利息	一、四一七、四二〇
販賣益金	四八四、六五〇
購買益金	一、九〇三、〇一〇
農業倉庫益金	一三八、九一〇
前年度繰越金	三九九、三四二

種目	損失金額
諸給料	一、二四八、八〇〇
役職員手當金	六三、三〇〇
旅費	一四三、五〇〇
諸經費	四四七、五五〇
會議費	一五八、四〇〇
負擔金	一二三、七六〇
借入金利息	三一九、一五〇
借地料	四〇、〇〇〇
貯金利息	八、八三九、一七七

治水事業費	五五、〇〇〇
販賣事業費	一〇五、〇〇〇
購買事業費	七五、五〇〇

合計 一八、二四〇、二四二

一一、五一九、一三七

差引剩餘金 六千七百貳拾壹圓拾錢五厘

剩餘金處分案

一金壹萬八千貳百四拾圓貳拾四錢貳厘也

一金壹萬壹千五百拾九圓拾參錢七厘也

差引

一金六千七百貳拾壹圓拾錢五厘也

此ノ處分

一金壹千七百五拾五圓貳拾錢也

一金六百五拾八圓貳拾錢也

一金貳千五百圓也

一金九百拾圓四拾四錢也

(剩餘金ノ四分ノ一以上)

(拂込出資金ニ對シ年六分ノ割)

(購買金百圓ニ付キ貳圓ノ割戻)

本年度總損金	本年度總益金
本年度剩餘金	本年度總損金

準備金	準備金
當立金	配當金
積立金	特別積立金
當金	特別當金

一金貳百五拾圓也

一金六百四拾七圓貳拾六錢五厘也

右ノ通りニ候也

昭和三年二月十五日

有限責任三芳野村信用購買販賣組合

理事組合長 大川平三郎

理事專務 原次郎

理事常務 高橋忠次郎

理事 大河戶源三

前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其ノ正確ナルヲ認メ剩餘金處分案ニ同意ス

昭和三年二月廿日

監事	栗原律三郎
監事	小川多一郎
監事	井上角造

販賣事業 (總額二萬八百九十四圓)

品目内譯

役員 10
繰越 報 酬
金

品目	數量	金額
小麥	四八〇俵	三、七一四、四〇〇
米	八〇〇俵	一〇、一八七、四〇〇
菰	五三、五六〇枚	七、四九八、四〇〇

購買事業 (總額四萬五千八十九圓)

品目內譯

品目	數量	金額
大豆粕	七、八四二枚	一七、二九三、二三〇
硫安	八九八噸	五、二二六、六七〇
カリンサン	一、五六九噸	二、四〇一、六二〇
配合	一、八三九噸	七、九八九、六四〇
糠	一、八三九噸	一、四六六、七一〇
魚肥	四八〇俵	七、〇〇四、六八〇
木炭	一、〇三四俵	二、五九九、二三〇
アンモニア	二〇四噸	二六七、五三〇
生石灰	一一六噸	七八、二四〇

大清硫安
 豐年
 加里
 石里
 蠶座紙其他
 一五〇三
 一〇三
 七三二俵
 三九、七四〇
 五三〇、六三〇
 三九〇、四三〇
 四〇四、三四〇
 六六、四六〇

農業倉庫入庫數量

目品內譯

(品目) (數量)

米 (一、四一九俵)
 小麥 (一、四五〇俵)
 蕤 (五〇〇枚)
 肥料 (二、五〇〇俵)

組合員名簿

長田銀次郎 小林相松 熊澤卯之平
 全寅五郎 熊澤庄作 栗原健次

栗全松小全松栗全小林立三全全吉全全栗
 原永林 永原 林 宅 秀 豐 野 菊 條 原
 森 て た 幸 斧 好 友 け 友 宗 高 次 吉 吉 藏 平 正
 藏 う か 郎 八 文 平 い 藏 次 郎 吉 吉 藏 平 勝

栗朝栗全全全原鹿全原全栗松小松萩栗
 原倉原 益寬 た 源 山 善 房 原 永 島 永 原 原 彌
 銀倉彌 太次 ね 郎 太 郎 安 五 次 森 次 利 三 丈 之 七 右 曾
 藏藏作郎郎ね郎郎郎郎次藏郎助郎助助門次

齋吉齊栗仲原松吉長栗同原原吉小栗鎌
 藤野藤原田 永馬 野 田 田 原 原 野 林 原 田
 良岩新磯勸 定 利 甚 一 鷺 次 あ 茂 金 重 勘 佐
 助松助吉藏吉郎郎作藏雄郎郎き郎郎吉次

長 小 栗 吉 加 原 鎌 松 上 長 齋 正 同 原 栗 同 鎌
 田 林 原 野 島 田 永 野 田 長 藤 木 源 春 原 栗 同 田
 彦 真 善 常 宇 吾 太 重 鹿 興 文 源 春 武 八
 次 次 次 吉 平 作 三 次 太 四 次 之 信 勝 平 郎
 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎

原 同 同 栗 原 栗 三 同 小 仲 同 栗 同 吉 栗 原 栗
 通 喜 清 原 原 宅 欣 川 田 房 長 原 長 野 原 伊 原
 太 代 仙 參 忠 淺 庄 太 太 太 丑 三 酉 寬 三 三 長
 郎 平 次 市 平 藏 吉 七 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎 郎

若 三 同 角 若 若 若 小 同 同 栗 栗 增 栗 長 鎌 吉
 狹 芳 野 野 狹 野 狹 川 同 同 原 原 田 原 田 田 野
 修 千 寅 治 柳 次 久 喜 伊 鶴 律 平 勝 真 伴 次
 平 吉 郎 衛 郎 吉 郎 一 蒸 助 吉 郎 郎 次 次 郎 郎

栗原源藏
 紫藤忠太郎
 小川峰吉
 紫藤喜藏
 同金代作
 同喜代之八
 小川高助
 同作藏
 栗原寛四郎
 中里福次郎
 栗原太最吉
 同太たつ
 小川藤次郎
 同兼次郎
 栗原平次郎
 小川時造

同浪兵衛
 清水いっ
 岸澤太八郎
 若林龜五郎
 若芳林兵衛
 三芳林兵衛
 若狹福太郎
 内田利助
 澁谷清八郎
 紫藤定吉
 増求常七次郎
 同増晴一
 同
 栗原修藏
 萩野伊助
 小川喜作
 増田清作
 小川龜作

15

三芳勘助
 大塚元識
 三芳正次
 若狹久平郎
 栗原一平郎
 小川平五郎
 若本彌五郎
 佐久間勘吉郎
 同薦次郎
 栗原助治
 増田銀藏
 中里菊次郎
 若野仁助
 小川作次郎
 若本庄平郎
 角野彌三郎
 内田定吉

同 大河 正 齋 白 大 大 大 正 真 林 真 正 白 大 中 齋
武 河 木 藤 田 河 川 川 木 仁 幸 仁 木 田 川 島 藤
次 戶 房 藤 恒 戶 平 喜 兵 田 三 千 卯 平 三 三 藤
郎 房 五 吉 藏 泰 太 一 七 銀 郎 代 之 三 佐 福
郎 郎 吉 三 直 郎 一 七 藏 郎 吉 松 郎 保 藏

真 福 真 齋 川 真 大 大 中 白 中 齊 大 新 大 同 大
仁 島 仁 藤 野 仁 河 川 島 島 藤 川 井 河 同 大
田 沖 田 捨 真 仁 戶 安 松 喜 新 幸 勝 川
磯 次 鍋 五 田 鶴 五 重 太 次 源 治 鶴
五 郎 太 郎 吉 已 松 郎 郎 郎 郎 郎 郎 三 吉

同 大 齋 松 大 中 正 同 福 同 齊 大 中 持 中 白 林
河 藤 本 和 島 木 同 島 同 藤 川 島 木 田 島 富
清 戶 源 仙 源 丑 寅 壯 文 源 良
高 太 次 次 太 吉 吉 重 織 太 藏 也 作 藏
作 藏 郎 郎 郎 郎 吉 郎 郎 平 郎 藏 也 作 藏

勝光寺檀徒總代

大河戸源三
松本政平
大河戸徳次郎
馬場平吉
中島直藏
大川悦次
齊藤庫之助
林善作
新井とみ
大川進一
眞仁田豊
大竹胸太郎
正木辨三
齋藤甚平
大河戸幾太郎
眞仁田三左衛門

大川通太
田中太藏
福島倫治
大河戸國松
大和はな
新井浪吉
同彌一
大河戸虎一
中島彌吉
松本治郎平
大川丹次
正木繁吉
大竹多吉
松本いせ
齋藤鍋太郎
新井騎兵衛
福島福次郎

辻松藏
新井文藏
白田義治
眞仁田政次郎
新井彌五郎
辻九重
福島豊次郎
中島市五郎
齋藤丑太
正木伊平
辻仲次郎
同安太郎
中島松太郎
柏又こ
同園吉
同龍吉
萩野庄次郎

辻 佐 辻 同 榎 同 同 萩 志 梶 萩 志 萩 同 志 萩 高
 藤 重 壽 又 七 惣 野 村 田 野 村 野 村 野 野 橋
 三 太 四 喜 美 七 金 密 田 孫 市 德 菊 密 密 滿
 代 太 郎 美 五 次 太 春 右 五 次 太 太 太
 吉 吉 郎 太 郎 吉 郎 郎 吉 衛 郎 郎 郎 郎 治
 吉 吉 郎 太 郎 吉 郎 郎 吉 門 郎 忍

北 小 小 柳 同 高 小 同 田 小 田 志 田 辻 榎 同 田
 川 谷 谷 川 同 高 小 同 田 小 田 志 田 辻 榎 同 田
 傳 野 野 健 平 橋 川 多 つ 島 芳 金 鹿 益 糸 彌 庄 勘
 源 種 次 喜 一 菊 太 五 太 益 平 三 五
 六 七 郎 郎 四 郎 太 郎 郎 郎 郎 郎 吉 吉 次 郎 郎
 六 七 郎 郎 四 郎 太 郎 郎 郎 郎 郎 吉 吉 次 郎 郎

同 柳 神 馬 辻 同 高 岸 大 同 同 同 小 柳 同 加 北
 川 田 場 浪 橋 田 塩 同 同 同 小 川 同 島 川
 尙 佐 九 義 浪 儀 元 佐 周 捨 谷 野 川 定 繁 貞
 重 重 重 次 儀 次 廣 四 太 野 太 次 繁 貞
 助 郎 郎 郎 吉 郎 作 郎 吉 郎 藏 藏 郎 七 郎 造 造

市田小志田榎田小高松小榎松榎小志萩
村邊谷村島又村室橋本本又室村野
勝萬野村千義義竹佐仁高野又爲代友げ
太郎次郎松助吉治穎次吉助藏松郎吉藏ん

萩丸田同辻高大大小柳高辻梶柏田松鈴小
野山島菊利幾橋澤澤谷川橋橋田島本本島
庄勝菊十利幾橋澤澤谷川橋橋田島本本島
太郎太郎郎平太郎郎平太郎郎七太郎郎八七

鈴木市高辻萩辻松田同川小加柏高梶小川
木村村橋野野本島島野野室島又橋橋田谷野
作義義竹半資龜良與源喜重朝團次文富松
藏太郎次吾生吉助次次郎則次郎郎五郎

柳川勝太郎 小谷野さき 同 高橋菊太 飯島久次 萩野茂 志村馬次郎 柳川熊重 小谷野彦市 小林爲秋 靜覺道 高橋きん 加藤介宗 同 辻吉藏 丸山彦次 岸田福次 廣

村田文吉 真田寛重 同 同 同 同 同 鈴木長次 井上喜重郎 松本力重 柏又與五郎 川野關太郎 猪鼻平吉 田島伊四郎 丸山爲次 鈴木正次 田島惣重郎 神田亨

同 同 栗原佐次 井上宇太郎 網代嘉吉 福田庄平 井上喜助 網代増太郎 同 井上源次郎 同 齊藤平藏 田中寅吉 同 真田佐藏 同 村田あき

田	村	福	村	坂	同	同	同	鈴	松	同	栗
中	田	田	田	爪				木	本		原
喜	福		榮		又	平	友		伴	正	松
兵	太	善	次	久	重	重		賴	次		三
衛	郎	藏	郎	藏	郎	郎	藏	平	郎	壽	郎

同	鈴	粕	同	栗	原	村	鈴	松	福	井	鈴
	木	谷		原	口	田	木	本	田	上	木
九		春	啓	わ	太	誠			儀	信	芳
	サ				四	四	祐	儀		角	太
重	ト	吉	造	か	郎	郎	三	作	吉	造	郎

真	中	栗	井	同	網	栗	福	同	松	井
仁	島	原	上		代	原	田		本	上
田	平		武					明	仙	貞
利	四	丈	覺		直	利	恒	治	三	重
十	郎	助	次	平	吉	助	吉	郎	郎	郎

昭和三年三月十五日印刷
昭和三年三月廿五日發行

(非賣品)

埼玉縣入間郡三芳野村

編輯者 原 次 郎

埼玉縣入間郡三芳野村

發行所 三芳野村信用購買販賣組合

川越市五反町一五一番地

印刷者 石川寫真館內 佐藤美舟

川越市高澤町七八番地

印刷所 文星舍印刷所